



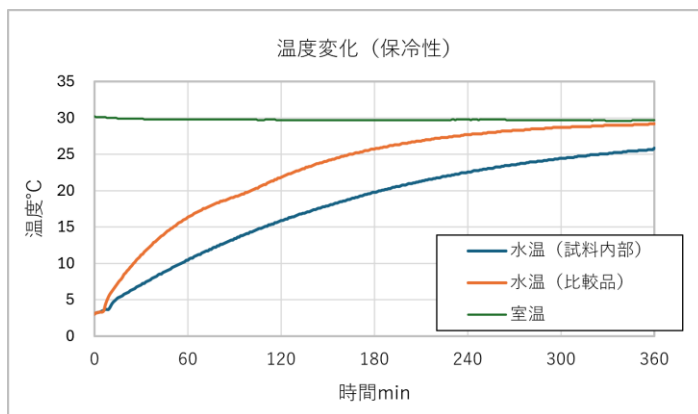
保温バッグ・保冷バッグ性能試験のご案内

ランチバッグやペットボトルケース、配達用バッグ等、保温保冷機能の付いた製品の保温性・保冷性を調べます

保温保冷機能付き製品に収納したペットボトルとそのまま放置したペットボトルの内部の水温の経過をグラフでわかりやすく示します

(試験の一例)

3℃の冷水を入れたペットボトル 2 本を用いて、1 本は試料内部に収納しもう 1 本はそのまま(比較品)でそれぞれ 30℃環境に置き、6 時間後までの水温を調べる ※保温性も同様に実施可能



- ・ほぼ無風の環境での試験実施が可能(恒温室:18℃～35℃で調整可能)※
- ・ペットボトル内部に温度計を封入し、ペットボトルやバッグを隙間なく閉めて試験実施が可能
- ・ご希望に応じた途中経過の水温(℃)の報告が可能(1分単位)

※ 恒温室の調整範囲外の温度は環境試験機内での実施となります

各社品質基準や指定条件によるカスタマイズ試験を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先

一般財団法人 日本文化用品安全試験所
大阪事業所 製品安全部

Tel : 072-968-2226 (製品安全部)

E-mail : anzen-osaka@mgsl.or.jp

住所 : 大阪府東大阪市水走3丁目6番14号